



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月11日

上場会社名 大日精化工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4116 URL <http://www.daicolor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者 (氏名) 有江 朋之

TEL 03-3662-7128

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	62,836	20.0	901	71.2	1,308	61.4	2,161	18.4
2020年3月期第2四半期	78,590	8.4	3,134	37.8	3,388	37.1	2,651	24.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,231百万円 (63.1%) 2020年3月期第2四半期 1,368百万円 (54.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	116.45	
2020年3月期第2四半期	142.79	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	187,734	97,225	50.8
2020年3月期	187,296	95,675	50.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 95,431百万円 2020年3月期 93,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		42.50		35.00	77.50
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	129,000	16.8	1,500	69.1	2,400	57.0	2,800	29.6	150.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	18,613,110 株	2020年3月期	18,613,110 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	47,934 株	2020年3月期	47,702 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	18,565,294 株	2020年3月期2Q	18,565,764 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、各国でロックダウン等からの経済活動再開により景況感は上向きとなりました。日本経済は、輸出の増加により外需は改善傾向となりましたが、雇用指標の悪化や個人消費の停滞により内需は緩やかな改善が続きました。

このような経済環境のもとで、当第2四半期連結累計期間の売上高は、印刷総合システム事業の包材向けパッケージ関連が堅調に推移しましたが、化学品事業および高分子事業の車両業界向けを中心に全般的に低調に推移したことなどにより628億3千6百万円（前年同期比20.0%減）の減収となりました。営業利益は、売上高の減収に対して経費支出の削減を図りましたが9億1百万円（同71.2%減）、経常利益は13億8百万円（同61.4%減）と減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に投資有価証券売却益を計上したことなどにより21億6千1百万円（同18.4%減）となりました。

次に事業セグメントの経営成績についてご報告いたします。

なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

(化成品事業)

当事業は、塗料・印刷インキ、情報表示・記録用の無機・有機顔料及び加工顔料、繊維用着色剤の製造・販売を行っております。情報表示・記録用顔料は、テレワーク拡大によるディスプレイ関連が堅調な一方、オフィス事務機関連が低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は92億1千7百万円（同26.8%減）、営業利益は4億1千1百万円（同73.4%減）となりました。

(化学品事業)

当事業は、マスターバッチ、樹脂コンパウンドなどのプラスチック用着色剤、紫外線・電子線硬化型コーティング剤の製造・販売を行っております。車両業界向けの着色剤は、国内外ともに第2四半期から回復傾向となりましたが、全般的には低調に推移しました。コーティング剤は主に情報・電子業界向けのディスプレイ関連が堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は331億7千9百万円（同21.8%減）、営業利益は10億9千7百万円（同54.6%減）となりました。

(高分子事業)

当事業は、ウレタン樹脂、天然物由来高分子の製造・販売を行っております。車両業界向けは、国内外ともに第2四半期から回復傾向となりましたが、全般的には低調に推移しました。海外連結子会社においては中国・アメリカの事業拠点の業績が低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は68億9千1百万円（同25.4%減）、営業利益は7億8千6百万円（同42.2%減）となりました。

(印刷総合システム事業)

当事業は、印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。グラビアインキは、国内は一般包材向けパッケージ関連が底堅く推移しました。また、インドネシアの拠点の業績が好調に推移致しました。一方、オフセットインキは需要減少傾向が続きました。

これらの結果、当セグメントの売上高は134億7千2百万円（同5.1%減）、営業利益は13億3千6百万円（同28.9%増）となりました。

(その他事業)

当事業は、グループ各社等への不動産賃貸等を行っております。当セグメントの売上高は7千5百万円（同37.5%減）となり、営業損失は7千1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,877億3千4百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億3千7百万円増加いたしました。これは、「受取手形及び売掛金」や「たな卸資産」が減少したことなどにより流動資産が19億4千万円減少した一方で、「有形固定資産」や「投資有価証券」が増加したことなどにより固定資産が23億4千2百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は905億9百万円となり、前連結会計年度末と比べ11億1千2百万円減少いたしました。これは、「支払手形及び買掛金」が減少したことなどにより流動負債が57億1千9百万円減少した一方で、「長期借入金」が増加したことなどにより固定負債が46億6百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は972億2千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ15億5千万円増加いたしました。これは、「為替換算調整勘定」が減少した一方で、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上により「利益剰余金」が増加したこと及び「その他有価証券評価差額金」が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、2021年3月期の業績予想を修正しました。

通期（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	126,000	500	1,200	1,800	96円96銭
今回修正予想 (B)	129,000	1,500	2,400	2,800	150円82銭
増減額 (B - A)	3,000	1,000	1,200	1,000	—
増減率	2.4%	200.0%	100.0%	55.6%	—
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	155,108	4,850	5,582	3,977	214円24銭

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,915	39,014
受取手形及び売掛金	47,331	39,932
たな卸資産	28,494	25,875
その他	2,093	1,086
貸倒引当金	△87	△64
流動資産合計	107,748	105,843
固定資産		
有形固定資産		
土地	14,086	14,060
その他(純額)	33,320	34,962
有形固定資産合計	47,406	49,023
無形固定資産		
その他	2,955	2,653
無形固定資産合計	2,955	2,653
投資その他の資産		
投資有価証券	19,349	20,377
退職給付に係る資産	6,102	6,290
その他	3,754	3,561
貸倒引当金	△18	△15
投資その他の資産合計	29,186	30,213
固定資産合計	79,548	81,890
資産合計	187,296	187,734
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,641	19,686
短期借入金	15,107	16,065
1年内返済予定の長期借入金	8,978	8,814
未払法人税等	506	700
賞与引当金	2,227	2,081
関係会社整理損失引当金	81	54
環境対策引当金	10	14
その他	7,623	7,040
流動負債合計	60,177	54,457
固定負債		
長期借入金	16,740	21,080
関係会社整理損失引当金	1,190	1,339
環境対策引当金	3,195	3,204
退職給付に係る負債	8,840	9,004
その他	1,477	1,423
固定負債合計	31,444	36,051
負債合計	91,621	90,509

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,772	9,772
利益剰余金	70,978	72,490
自己株式	△110	△110
株主資本合計	90,680	92,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,552	7,721
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	△1,592	△2,818
退職給付に係る調整累計額	△1,841	△1,662
その他の包括利益累計額合計	3,118	3,238
非支配株主持分	1,876	1,793
純資産合計	95,675	97,225
負債純資産合計	187,296	187,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	78,590	62,836
売上原価	65,848	53,519
売上総利益	12,742	9,316
販売費及び一般管理費	9,607	8,415
営業利益	3,134	901
営業外収益		
受取利息	93	80
受取配当金	209	195
為替差益	—	138
持分法による投資利益	76	14
保険配当金	128	138
その他	217	357
営業外収益合計	725	925
営業外費用		
支払利息	204	205
為替差損	126	—
支払手数料	—	141
その他	141	170
営業外費用合計	471	518
経常利益	3,388	1,308
特別利益		
投資有価証券売却益	206	1,826
その他	179	21
特別利益合計	385	1,847
特別損失		
減損損失	0	31
固定資産除却損	82	67
関係会社整理損失引当金繰入額	619	222
その他	181	122
特別損失合計	883	444
税金等調整前四半期純利益	2,890	2,712
法人税、住民税及び事業税	234	658
法人税等調整額	16	△100
法人税等合計	251	558
四半期純利益	2,639	2,154
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,651	2,161

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,639	2,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△755	1,169
繰延ヘッジ損益	1	△1
為替換算調整勘定	△503	△1,206
退職給付に係る調整額	105	179
持分法適用会社に対する持分相当額	△120	△62
その他の包括利益合計	△1,270	77
四半期包括利益	1,368	2,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,418	2,282
非支配株主に係る四半期包括利益	△50	△50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2,3)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	12,589	42,447	9,238	14,192	121	78,590	—	78,590
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	198	22	212	—	8,668	9,103	(9,103)	—
計	12,788	42,470	9,451	14,192	8,790	87,693	(9,103)	78,590
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	1,545	2,415	1,361	1,036	△108	6,250	(3,116)	3,134

(注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用3,116百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2,3)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	9,217	33,179	6,891	13,472	75	62,836	—	62,836
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	132	14	161	—	6,442	6,749	(6,749)	—
計	9,349	33,194	7,052	13,472	6,518	69,586	(6,749)	62,836
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	411	1,097	786	1,336	△71	3,560	(2,658)	901

- (注) 1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,658百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産に区分される土地の減損損失を特別損失として計上しております。なお、減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては31百万円であります。